



監査報告書

令和3年5月28日

社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会
会長 福住隆敏 様

社会福祉法人大洲市社会福祉協議会

監事 請田竹男 

監事 丸山幸宏 

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1 実施日時

令和3年5月28日

2 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告等（事業報告及びその附属明細書）について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

3 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ・事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ・理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

- ・計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) 経営に関する監査結果

- ・訪問介護事業所肱川については、肱川・河辺地域唯一の事業所として訪問（居宅）介護サービスを提供されているが、令和2年度単年度収支差額がマイナス約428万円となっており、令和元年度がマイナス約439万円と赤字経営が継続しています。両地域の特性から人口減少や移動に係る時間がかさむ状況等非効率な運営を余儀なくされており、厳しい経営環境であると理解できますが、今後、一層の経営改善に努めてください。